

事業概要 【データを活用したスマートまちづくり】

実施地域	愛知県蒲郡市	事業費	5,478千円
実施主体	愛知県蒲郡市	人口	78,720人
事業概要	データ利活用プラットフォームの導入により行政データの可視化を行う。オープンデータの拡充及び利用促進・普及活動を行い、行政の透明性を確保するとともにまちづくりの担い手増加を目指す。また、EBPMの推進により公正公平かつ効果的な政策立案を行い住民サービスを向上させる。		
具体サービス	【データ利活用プラットフォーム】 ・ノーコードでデータ分析画面を作成 ・住民情報等を統計化しオープンデータ化 ・データの可視化（グラフ生成） ・データの地図上へのマッピング ・複数データとの連携		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①公開データセット数 ②公開データのダウンロード数	【アウトカム指標（成果指標）】 ①オープンデータを用いた連携事業数 ②BIツールを用いた政策立案数 ③市政の情報提供に対する市民の満足度	

■ サービス内容

サービス名	データ利活用プラットフォーム	事業費	5,478千円
ターゲット	市民、企業、市職員		
展開エリア	全国		

サービス内容 (事業分野：①行政サービス)

- データベースの連携・活用基盤
- データの集約、集計、見える化 (グラフ・マッピング)
- ノーコードでデータ分析画面を作成
- 公開用データの作成 (既存の推奨データセットに加え、市独自の住民情報を統計化したデータや複数データのクロス集計結果等のCSVや分析用グラフ)
- 分析支援ツールによるEBPM支援

